

会 議 録

1 会議名

令和6年度第3回八千浦区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて（公開）
- ・地域協議会ファシリテーション研修について（公開）

3 開催日時

令和6年8月9日（金）午後6時30分から午後7時30分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 大島 進（会長）、羽深栄一（副会長）、笠原 武、笠原幸博、佐藤巳次、竹田充子、平野和夫、古岡和人、柳澤文雄、渡邊修一、渡邊裕子
（欠席者1名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【大島会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：竹田委員、羽深副会長に依頼

本日の進め方について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

次第の変更をお願いしたい。今日は、初めに報告事項として、地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて、事務局から報告をさせていただく。次に、8月1日に市の主催で会長及び副会長を対象とした「地域協議会ファシリテーション研修」が行われ、羽深副会長からご出席いただいたので、委員の皆様研修の内容等をご報告いただくこととしている。

進行に変更が出てしまい申し訳ないが、よろしくをお願いしたい。

【大島会長】

議題【報告事項】地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・別紙1「地域自治推進プロジェクトの概要」

別紙2（案）「地域自治の理想的な姿及び取組の方向性（全体図）」 について説明

【大島会長】

今ほどの説明について、質問等はあるか。

情報量が多すぎて、なかなか整理できないと思う。

過去を知っている経験から、少し皆さんにお話させていただくと、例えば「地域自治の活動を活性化する予算」について、令和4年度までの「地域活動支援事業」では市から八千浦区に毎年560万円予算が割り振られていて、その予算額の範囲で地域協議会が地域団体の提案を審査していた。令和5年度からの「地域独自の予算事業」では地域団体の提案について審査は市が担うことに変更となった。私としては、地域協議会に地域団体の情報が入ってこなくなっていることは残念で、「八千浦スピリッツ」や「少年消防」といった団体の活動はどうなっているのか状況が心配で、知りたいと思っている。

こんなことでもいいので、質問等はないか。

【羽深副会長】

会長の話にもあったが、「地域活動支援事業」では560万円を毎年八千浦区で使え、補助率は10分の10、公共的な内容のものも多く実施されていた。「地域独自の予算事業」では補助率が10分の9、それから10%ずつ下がっていくという話が出ているが、なぜ公共的な内容のものを、地域の団体が経費負担しなければいけないのか。

【佐藤所長】

公共的な内容のものは、もちろん市の担当部署が事業として実施している。そちらとは別に、地域の皆さんの発想で、地域が良くなる、地域が活性化する、そういった事業について支援をするということで、「地域活動支援事業」から制度が変わり、令和5年度から「地域独自の予算事業」に変更になった。

地域の団体の皆さんに経費負担を求めている点について、市の財政が厳しさを増す中で、皆さんの力でも少し活動費を充てることできないかという、市からのお願いの意味も含めた補助率としている。

市の補助事業は大体が補助率2分の1、50%の補助で、今までの「地域活動支援事業」の補助率10分の10は、市の補助事業の中でも特種なものであった。他の補助事業からすると、「地域独自の予算事業」の補助率も決して低いものではないので、ご理解いただきたい。

【羽深副会長】

私は、今期2期目ということで、それ以前のことは存じていないが、例えば、八千浦でいうと海まつりや、公園の遊具入れ替えについて「地域活動支援事業」で地域の経費負担なく実施できていた経緯がある。

地域の団体に経費負担を求めることは、市がやろうとしている地域活性化の促進に逆行するのではないかと思うがいかがか。

【佐藤所長】

今回のアンケートで皆様の生の声を是非お聞かせいただきたい。先ほど申し上げたように「地域独自の予算事業」では当初、補助率を10分の7まで下げる予定であったが、皆さんの声をいただいて検討し、「R元年から4年度に地域活動支援事業を活用してきた取組を地域独自の予算事業でも継続する場合」については来年度も補助率を10分の9で据え置くという方向にしている。アンケートを通じて、皆様からいろいろなお話をいただきたい。そのご意見を基に検討し、地域の活性化につながるように市の支援策を練りたい。

【大島会長】

アンケートについて皆さんからご協力をお願いしたい。

続いて、【報告事項】地域協議会ファシリテーション研修の報告について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

先日8月1日に、市の主催で、会長及び副会長を対象とした、地域協議会ファシリテーション研修が行われ、羽深副会長からご出席いただいた。研修は、会議を円滑に進める技術の習得を目的として開催されたもので、研修後には市内全28区の正副会長意見交換会も行われた。こちらについて、羽深副会長から委員の皆様へ、研修等の内容報告をお願いします。

【羽深副会長】

・ファシリテーション研修について報告

出席率78%弱と、市内28区の地域協議会代表者の多くの方が、時間の都合をつけて出席していることに感心をした。地域協議会では会長がファシリテーターの役割を担っているが、どの委員の皆さんもファシリテーターの立場になる可能性はあるので、皆さんにも意識していただけるとありがたい。

ファシリテーターというのは、単なる司会ではなくて、会議の中で本来のテーマから話がそれていないか、満遍なく参加者が発言できているか、時間は予定通り進行しているかといったことを調整しながら話し合いを進める役割であることを学び、会議をどのように進めるのが良いのかグループワークを行った。

ファシリテーターで大切なことは、ポジティブに考え、笑顔でいること。それから、どんな意見でも否定せず、一度受け入れることである。また、三つの管理項目として進行管理、メンバー管理、時間管理のほか、二つのスキルとして質問スキル、指名スキルについて具体的に話があり、会議を円滑に進める技術について学んだ。

正副会長意見交換では、各区の困った事例として、意見を何も言わない、会議に出席しない、一人で10分以上話し続ける、意見の食い違いから口論になるといったことが紹介された。八千浦区ではこういったことはなかったと思うが、これからもスムーズな進行に協力し、皆さんから意見を述べていただきたい。

【大島会長】

今ほどの副会長の報告について、質問等はあるか。

この研修会の意味は、会長、副会長が会議を円滑に進行するためのものなので、実際に皆さんが、普段考えることとは少し違うかもしれないが、副会長がおっしゃったように、4年後にこの場所にこの中から立つ人も出るかもしれない。私も資料をいただいたので、これから勉強していきたい。我々、会長、副会長の進行で、もう少しこうしたほ

うがいいのではないかというものがあれば、ぜひ遠慮なく指導していただきたい。

ほかに意見を求めるがなし。

その他について、事務局あるか。

【丸山主任】

・次回協議会：9月最終週

会場の空き状況を確認の上決定する。

【大島会長】

ほかに意見、質問等はあるか。

【平野委員】

協議会の開催日だが、先期までは大体水曜日にやっていた。今期に入ってから変わってきているが、できれば曜日を決めていただくとありがたい。

【佐藤所長】

第1回目の地域協議会のときに、いろいろなことを決めていただき、その中で、会議の開催日時も決めていただいた。

昨年第4期までは、「次回の議題が確定している場合は、協議会で日程を協議し決定する。また、議題が確定していない場合は、会長と日程を調整し決定し、時間は6時半から開催を基本とする」というようにしていた。第5期の進め方についてお諮りしたときに、第4期と同じでよいと決定し、事務局では会長と相談しながら日程を決めている。皆さんの中で、何曜日がよい、何曜日が駄目だというものがもしあれば、お話いただいたものを会長と事務局で相談しながら、日程を調整していこうと思う。

【平野委員】

了解した。

【大島会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。